

2009年度 中間決算説明資料

株式会社太陽工機

2009年10月27日

将来予測について

◆当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、主に以下のものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

決算概要

中間決算サマリー

■ 昨年度後半からの受注減少を受け、業績は大きく後退

- 売上高 637百万円(前年比 81.7%減)
- 営業損失 795百万円(前年同期 532百万円の利益)
- 経常損失 817百万円(前年同期 520百万円の利益)
- 当期純損失 947百万円(前年同期 291百万円の利益)

■ 受注: 受注環境の悪化を受け大幅な減少

- 受注 599百万円(前年比 83.0%減)
- ⇒ 景況悪化による需要先の設備投資決定の長期化が影響

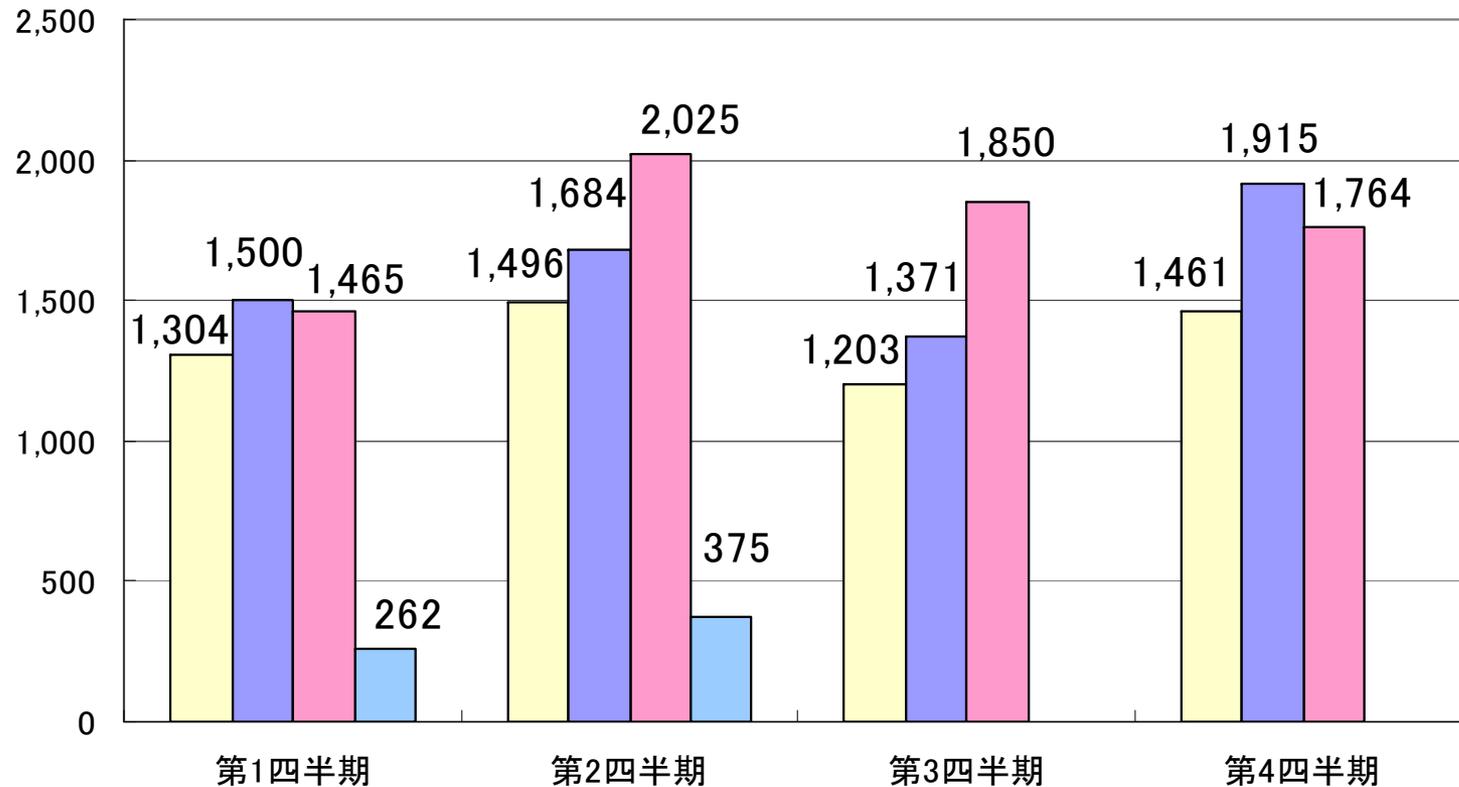
損益計算書(P/L)

(百万円)	2008年度 中間期	2009年度 第2四半期		
	実績	実績	増減	対前年比
売上高	3,490	637	▲ 2,853	81.7 %減
営業利益	532	▲ 795	▲ 1,327	—
(売上高比率)	15.3%	—	—	—
経常利益	520	▲ 817	▲ 1,337	—
(売上高比率)	14.9%	—	—	—
税引前利益	521	▲ 820	▲ 1,341	—
当期利益	291	▲ 947	▲ 1,238	—

売上高(四半期別推移)

(百万円)

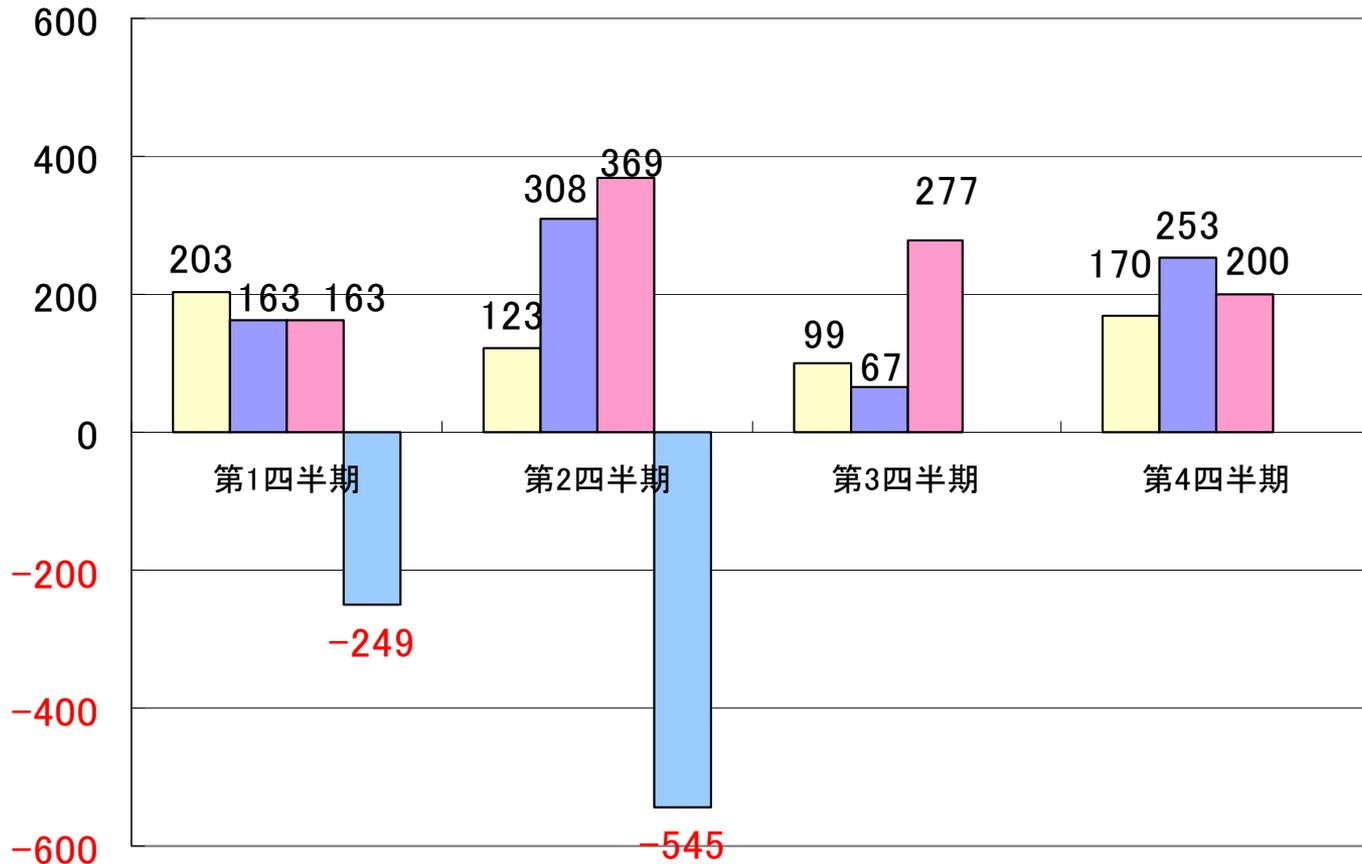
□ 2006年度売上高 □ 2007年度売上高 □ 2008年度売上高 □ 2009年度売上高



(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 6/24

営業利益(四半期別推移)

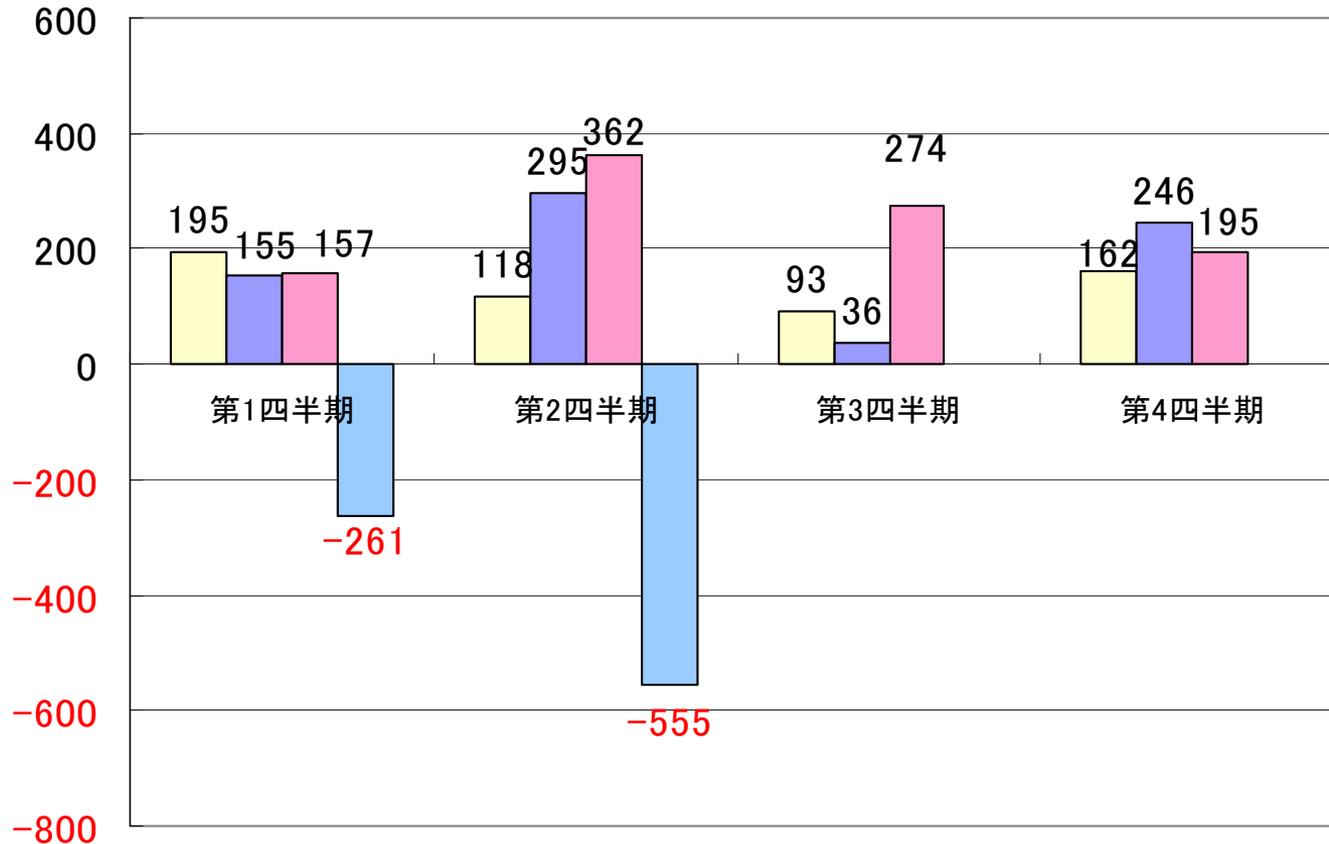
□ 2006年度営業利益 □ 2007年度営業利益 □ 2008年度営業利益 □ 2009年度営業利益



(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 7/24

経常利益(四半期別推移)

□ 2006年度経常利益 □ 2007年度経常利益 □ 2008年度経常利益 □ 2009年度経常利益



(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 8/24

原価率・販管費・株主資本比率

	2008年度 第2四半期	2008年度 中間期	2008年度 通期	2009年度 第2四半期	2009年度 中間期
売上高原価率 (下段は売上原価: 百万円)	70.6%	72.3%	71.7%	164.5%	128.0%
	1,430	2,522	5,096	617	815
販売管理費率 (下段は販売管理費: 百万円)	11.2%	12.5%	14.1%	123.6%	96.8%
	226	435	999	303	617
株主資本比率 (下段は株主資本: 百万円)	64.0%	64.0%	70.1%	57.0%	57.0%
	2,450	2,450	2,665	1,674	1,674

- 売上高原価率 ⇒ 売上減少により悪化。
- 販売管理費率 ⇒ 増加要因(研究開発増加168M・展示会実施23M)を除くと426Mとなり前年同期と比べ減少。

貸借対照表(B/S)

(百万円)	2008年度		2009年度 中間期		(百万円)	2008年度		2009年度 中間期	
	3月31日実績		9月30日実績	増減		3月31日実績		9月30日実績	増減
資産の部					負債純資産の部				
流動資産	3,173		1,375	▲ 1,798	流動負債	1,126		240	▲ 886
現金及び預金	1,266		255	▲ 1,011	買掛金	48		35	▲ 13
売掛金	1,064		306	▲ 758	短期借入金	498		—	▲ 498
棚卸資産	705		674	▲ 31	製品保証引当金	107		46	▲ 61
その他	138		140	2	その他流動負債	473		158	▲ 315
固定資産	630		1,561	931	固定負債	5		1,006	1,001
建物・構築物	70		1,024	954	長期借入金	—		—	—
機械・設備・その他	125		119	▲ 6	リース債務	5		1,006	1,001
土地	357		356	▲ 1	その他固定負債	—		—	—
無形固定資産	44		41	▲ 3	純資産	2,673		1,691	▲ 982
投資その他資産	32		20	▲ 12	株主資本	2,665		1,679	▲ 986
資産合計	3,804		2,937	▲ 867	新株予約権	8		12	12
					負債純資産合計	3,804		2,937	▲ 867

- **流動資産**：売上減少により売掛金が減少。
- **固定資産・固定負債**：新工場建設によるもの。
- **借入金**：2009年9月期に一旦返済し、無借金に。
- **株主資本**：当期利益マイナスにより純資産減少。

キャッシュフロー計算書(C/F)

(単位:百万円)

	2008年度 第1四半期	2008年度 中間期	2008年度 第3四半期	2008年度 通期	2009年度 第1四半期	2009年度 中間期
営業活動によるCF	203	298	706	1,293	177	▲ 439
投資活動によるCF	▲ 16	▲ 116	▲ 85	▲ 150	36	▲ 25
財務活動によるCF	▲ 138	▲ 249	▲ 249	▲ 301	▲ 47	▲ 561
現金および同等物の増減額	47	▲ 67	370	842	166	▲ 1,026
現金および同等物の期首残高	299	299	299	299	1,141	1,141
現金および同等物の期末残高	347	232	670	1,141	1,308	115

- **営業活動** ⇒ 売上減少により、マイナスのフロー。
- **財務活動** ⇒ 借入金全額返済・リース債務返済により、マイナスのフロー。

回転期間・株主資本比率

	2008年度	2009年度	
	中間期	中間期	増減
売上債権回転期間	2.44	2.88	0.44 ヶ月
棚卸資産回転期間	2.28	6.35	4.07 ヶ月
仕入債務回転期間	0.64	0.33	▲ 0.31 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	0.89	14.13	13.24 ヶ月
借入金回転期間	0.86	0.00	▲ 0.86 ヶ月
株主資本比率	64.0%	57.0%	▲ 7.0 %ポイント

- 売上高の減少に伴い、各指標とも悪化。
- 棚卸資産回転期間: 数値悪化は主に売上減少によるもの。
- 固定資産回転期間: 新工場建設に伴い有形固定資産が増加。
- 借入金回転期間 : 短期借入金の全額返済によるもの。

トピックス

展示会出展状況

- **メカトロテックジャパン 2009** (10/14 ~ 17)
- **太陽工機 プライベートショー**(11/27 ~ 28予定)
今年7月に引き続き開催。



メカトロテックジャパン



プライベートショー(前回)

新開発機種

■ NVGH-6T (APC仕様) **NEW**

- 中型ワーク(数十kg~400kg)の自動化を可能とし、お客様の大胆なコストダウンを実現。
- 内・外径、端面をワンチャッキングで高精度研削することにより、お客様のプロセスイノベーション(工程革新)を実現。

■ ターゲットユーザ

- ・ 船舶関連
- ・ エネルギー関連
(軸受・変速機・タービン)
- ・ 建設機械
- ・ 航空機
- ・ 工作機械



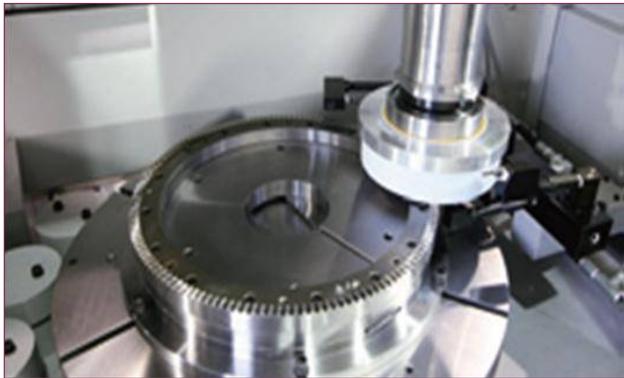
新開発機種

■ NVGH-6TC NEW

- 内・外径、端面及びカム面、カップリング歯面のワンチャッキング加工で今までにないプロセスイノベーション(工程革新)を実現。



船舶用エンジンカム



カップリング



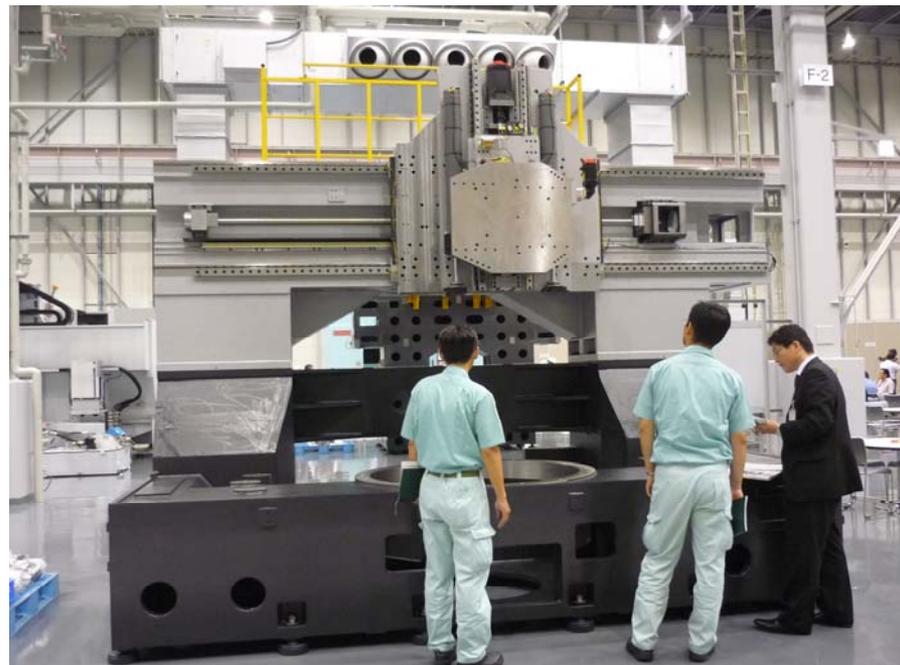
新開発機種

■ NVGH-12T / 22T **NEW**

➤ NVGH-6Tをさらに大型化。直径1,200～2,200mmの大型部品加工に対応。

特徴・コンセプト

- 1: 高剛性・高馬力の砥石軸
- 2: ハードターニング機能搭載
- 3: 軸送り速度 高速化
- 4: 砥石ターレット 高精度任意角度割出
- 5: 主軸 C 軸制御 (DDモータ) 搭載



プライベートショーで試作機をもとに商談

新開発機種

ベアリング向けベースマシン
現在開発中

今後の展開

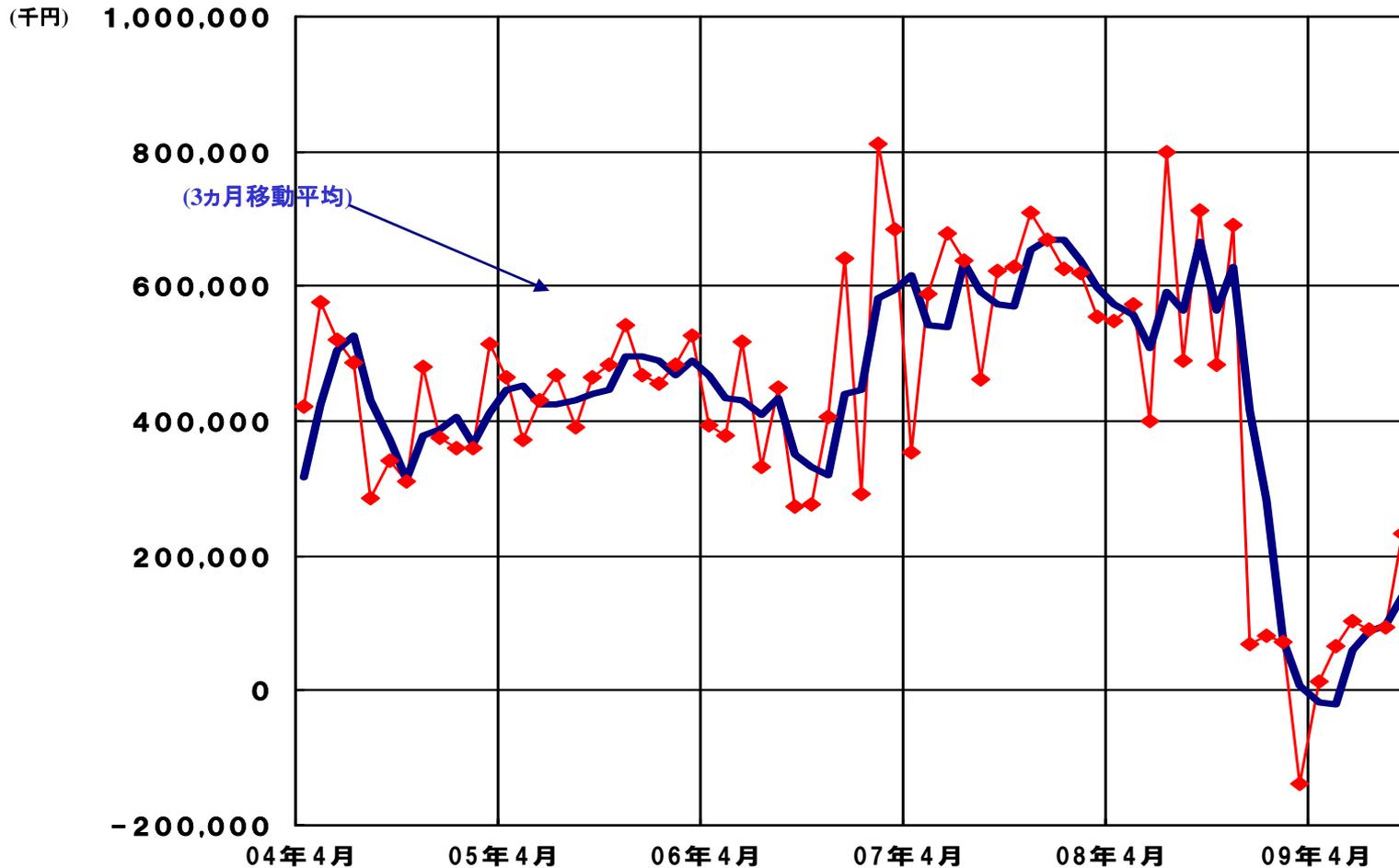
業績予想・配当予想の修正(10月2日)

(百万円)	2008年度		2009年度 予想		
	上半期	通期	通期		
	実績	実績	修正前	修正後	増減
売上高	3,490	7,106	3,500	1,500	▲ 2,000
営業利益	532	1,010	▲ 1,040	▲ 1,300	▲ 260
(売上高比率)	15.3%	14.2%	—	—	—
経常利益	520	990	▲ 1,100	▲ 1,300	▲ 200
(売上高比率)	14.9%	13.9%	—	—	—
税引前利益	521	991	—	—	—
当期利益	291	554	▲ 1,100	▲ 1,400	▲ 300
1株当たり配当金	0円	15円	5円	0円	▲ 5円

■ 修正の理由

国内を中心とした設備投資の回復が想定以上に遅れたことにより、受注、売上及び利益が総じて低迷。

受注高の推移



■ 2009年3月に底入れし、海外ユーザーを中心に回復の兆しが見られる。

今後の展開

営業展開

■海外マーケット開拓

- **欧州市場** ⇒ パリに駐在員3名の拠点を設置、開拓を進める。(12月予定)
- **アジア市場** ⇒ 中国・インド地域をターゲットに建機・エネルギーに攻勢。
中国へはエンジニアを追加派遣し、開拓強化。(1名→2名)
- **北米市場** ⇒ シカゴ駐在のエンジニアを中心に当社技術の普及を図る。

■国内営業力の強化

- **プライベートショー**を定期的に行う、需要発掘を行う。
- 重厚長大・エネルギー・航空・建機など有力マーケットでの提案型営業に注力。

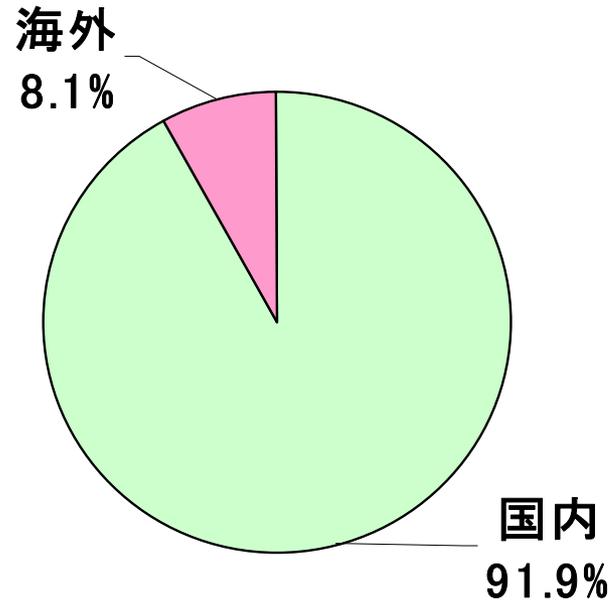
製品開発

■新規市場に向けた製品開発

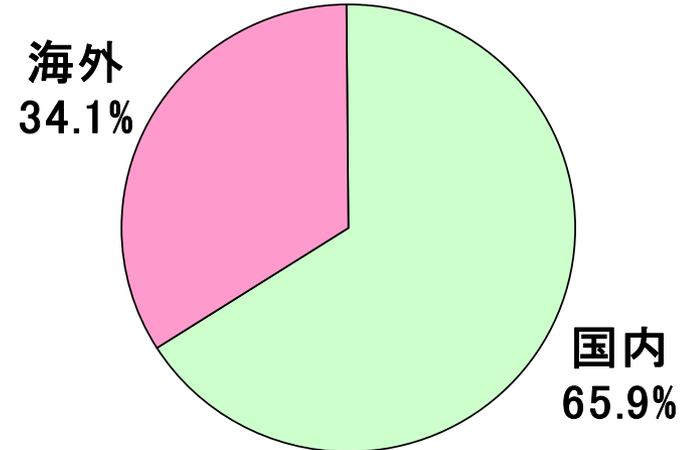
- 国内・海外の大手**ベアリング**メーカーをターゲットとした戦略機種の開発。
- 対話機能の開発による操作性の向上など**アプリケーションソフトの充実**を図る。

海外受注比率

2008年度 通期



2009年度 中間期



■ 海外展開の施策が奏功し、海外比率が上昇。

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問い合わせ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>